



今年の冬は例年より雪が少なく、過ごしやすい冬になると思われましたが、最低気温がまさかの-30.3℃に到達。1990年以来、30年ぶりの-30℃超えの記録となり、冬は決して優しくないことを思い知らされました。

そんな冬も終わり、白く覆われていた山々には明るい緑が見え始め、佐呂間町にもようやく春の訪れが。市街地から少し離れた道路の脇には、ふきのとうやタラの芽などの山菜が自生しており、帰り道に採ることもしばしば。それを家に持ち帰り、天ぷらにして食べれば気分は春満点！！

とれたての山菜を食べることができるのは、田舎の特権なのかもしれません。

「佐呂間町サポーターズ倶楽部」の開設から6年弱、ついに会員数 **3,000名** を突破いたしました！突破記念として、新たな特典をご用意いたしました。詳しくは同封のチラシをご覧ください。



発見！サロマの魅力！

地産地消第4弾！ サロマの牛乳

佐呂間町は、全国でも有数の日照時間の多い地域に位置しており、昼夜の温度差がある内陸型気候のため、とても農業に適した環境にあります。

北海道で一番大きな湖「サロマ湖」に面しており、「ホタテ養殖発祥の地」として、漁業のまちというイメージをお持ちの方も多いと思いますが、肥沃な大地と寒冷な気候は、乳用牛の飼育にとっても適しており、酪農や畑作も非常に盛んです。

町内では、人口のおよそ2倍に相当する約9300頭の乳用牛が飼育され、近年ではロボット搾乳の導入や法人化経営など、大規模化も進んでおり、480頭以上を飼育している酪農家さんもいます。



佐呂間町では、年間5万トンを超える生乳を生産しており、町内の森永乳業佐呂間工場に出荷されます。

集められた生乳は、「佐呂間町ふるさと納税」でも大人気の「北海道バター」などに加工されています。

現在、春の訪れを感じる季節となり、農村にはにわかには活気づき、豊かな秋の实りに想いを馳せて、日々の地道な作業を繰り返しております。

どこまでも続く大草原で、草を食べる牛たちを思い、熱い情熱を注ぎ、日々汗を流す酪農家さん達の努力が、本町酪農の発展を支える大きな力となっています。

会員特典リニューアル

☆あじわい市場

- ・今まで先着20名を定員としていた送料半額負担(上限1,000円)を、あじわい市場2021年春号から先着50名に増員！

☆宿泊特典

- ・特典の商品が一部リニューアル！
- ・もりた旅館が特典対象施設に追加！

☆新特典

- ・サロマ応援マイレージ
- ・フォト&ムービーキャンペーン

★ウォッシャー液プレゼント廃止

- ・町内ガソリンスタンドでの給油でウォッシャー液プレゼント特典は2020年3月31日をもって、廃止とさせていただきます。

新特典の詳細は同封のチラシをご覧ください！

